

(四国地方整備局からのメッセージ)

◆◆◆四国地方整備局トピック 2018. 11. 9◆◆◆

【 四国地方整備局 企画部長 荒瀬 美和 】

9月1日付で企画部長を拝命しました、荒瀬と申します。これから皆様にたいへんお世話になることと思っております。よろしくお願ひいたします。

四国での勤務は、松山河川国道事務所での平成25年4月からの2年間以来、2度目となります。松山在籍時には、松山外環状道路インター線の開通式を2年連続で、また石手川ダム40周年記念式典などの良い経験をさせていただいた一方で、平成26年12月の大雪による国道192号車両滞留発生時には、徳島河川国道事務所とともに改正災害対策基本法に基づき全国で初めて区間指定を行うなど、貴重な体験もさせていただきました。3年5ヶ月ぶりの四国勤務ですが、着任以来、各方面の方々とお目にかかる際に、「おかえりなさい」とのお声をかけていただくことがあり、ありがたくも気が引き締まる思いです。

先日、「四国8の字ネットワーク」の一部となる国道56号片坂バイパスの開通式に参加させていただきました。そのご挨拶の中で「幡多地区から高知市への難所だった『焼坂』『久礼坂』に続き、最後に残った『片坂』が解消することになった」とのお話がありました。また、その日のうちにフォーラムが開催されている徳島の海陽町まで車で移動し、地域の皆様の高速道路に対する熱い思いを受け取らせていただきました。

私も大学時代(30数年前に)、男二人、軽自動車で岡山から宇高連絡船で高松に渡り、時計回りで松山まで突貫旅行をしたことがあります。その頃はまだ四国では高速道路は開通していませんでしたのでずっと国道を走った思い出があります。

その当時から比べると高速道路や一般道路の整備も少しずつは進んでいるとの実感はありますが、南海トラフ巨大地震に備える「四国8の字ネットワーク」の全通までにはまだまだ時間を要します。

四国地方は、瀬戸内の多島美や雄大な太平洋、石鎚山や四万十川などの豊かな自然と、お遍路に代表されるお接待やおもてなしの文化・歴史がはぐくまれているとともに、日本一・世界一の優れた技術を有する企業が集積するなど、魅力にあふれる地域であると感じています。さらなる四国の発展、安全安心のためには、高速道路のみならず、これと一体となって地域の交流を支える道路網の整備、さらには、水害を防ぎ被害を軽減するための治水事業、他地域とのゲートウェイとしての港湾整備など、社会基盤の整備や管理が重要です。

その一端を担えることに気を引き締め、私もしっかりと努力していきたいと思っております。また、これからも、四国の各地に足を運び、皆様と交流しながら、四国の良さを満喫して、もっともっと四国のことが好きになりたいと思っております。

ご支援、ご指導をよろしくお願ひいたします。

目次

- 「平成30年度 四国地方整備局管内技術・業務研究発表会」について（報告）
- 『建設フェア四国2018 in 高松』が開催されました！
- 地元高校生を対象とした現場見学会開催～新猪ノ鼻トンネル～について
- 11月11日は「公共建築の日」 11月は「公共建築月間」です。
- 国営讃岐まんのう公園「ウィンターファンタジー」
～きらめく幻想的な世界へぜひお越しください～
- 徳島河川国道事務所からのお知らせ

「平成30年度 四国地方整備局管内技術・業務研究発表会」について（報告）

【 企画部 企画課 】

平成30年7月豪雨の影響で延期となっていました「平成30年度 四国地方整備局管内技術業務研究発表会」を10月2日、3日の2日間、高松サンポート合同庁舎にて開催しました。

発表会では、イノベーション部門、アカウントビリティ部門、一般部門の3部門64題という過去最多の発表がなされました。2日間で延べ約600名の聴講者のもと、全ての発表がつつがなく行われました。発表後には、荒瀬企画部長（論文審査委員長）からの講評、優秀論文として20課題が表彰を受け、池田次長から優秀論文賞受賞者への表彰状授与及び閉会挨拶で2日間の発表会を締めくくりました。

また、2日目の午後には「技術開発発表会」が開催され、香川大学創造工学部岡崎慎一郎准教授から「汚れに着目した簡易で効果的な橋梁の点検・診断手法の確立」、愛媛大学大学院理工学研究科倉内慎也准教授からは「統合型需要モデルによる高速道路整備に伴う便益計測手法の開発」の発表がありました。

『建設フェア四国2018 in 高松』が開催されました！

【 企画部 企画課 】

平成30年10月19日（金）、20日（土）の2日間、サンポート高松において『建設フェア四国2018 in 高松』が開催されました。2日間で約5,000人という多くの方々にご来場いただきました。

ブースは113ブースを出展いただき、高松開催では過去最高の出展数となりました。今回の建設フェアでは、初めての取組として、ブース出展者（18社）の方々から自慢の技術をプレゼンテーションして頂きました。その模様は建設フェア四国Face bookにてLIVE配信するとともに、出展者毎の動画として掲載しております。

建設フェア四国恒例の3高専の女子学生による“どぼじょ工作教室”や建設職人体験（鉄筋工、とび工、左官工、型枠工）、災害疑似体験として降雨体験装置や土石流3Dシアターなどお子様向けイベントも開催し、ご家族連れの方々と大いに賑わいました。

地元高校生を対象とした現場見学会開催～新猪ノ鼻トンネル～について

【 香川河川国道事務所 工務第二課 】

ドォー————ン!!!という体を突き抜けるような、トンネル発破掘削時の衝撃波体験から始まった、地元高校生を対象とした今回の現場見学会。人生初の体験をした学生達は想像以上の“衝撃”に目を丸くし、その後も少し興奮気味にトンネル工事の現場を見学していました。

未来の技術者に、ものづくりの喜びや建設業の魅力を知ってもらい、社会資本整備に対する理解を深めようと、香川河川国道事務所では地元の学生を対象とした現場見学会を開催しており、9月25日に開催した現場見学会は、国道32号猪ノ鼻道路のうち香川県と徳島県の県境をまたぐ新猪ノ鼻トンネル（全長4,187m）において、多度津高校生を招き、現場見学会を開催しました。

今回の見学会では、このトンネル施工現場で初となる衝撃波体験を盛り込むことで、より学生に社会資本整備に対して興味をもってもらう事ができ、又、彼らにとって人生で忘れられない“衝撃”となったことと思います。

尚、本トンネルは香川県側の2,803mの掘削が9月末に完了し、徳島県境に到達しました。徳島県側の1,384mの掘削は現在も進行中です。掘削完了まで引き続き、未来の技術者にとって忘れられない“衝撃”を与えられるような、現場見学会を開催していきます。

11月11日は「公共建築の日」 11月は「公共建築月間」です。

【 営繕部 】

行政、教育文化、福祉等様々な分野に係わる各種の公共建築は、地域社会の人々の生活に密接な係わりを持ち、地域の活性化、生活・文化水準の向上、街並み・景観の形成等を図るうえで重要な役割を果たしています。また近年、地域との関係を図りながら、公共建築の整備や運営のあり方を考えるべきという気運がますます高まっています。

このような状況を踏まえ、関係団体、地方公共団体、関係省庁等が幅広く協力しつつ、また広く一般の方々にも関心を持っていただきながら、より一層、国民生活に密着したより良い公共建築を目指すことを目的に11月11日を「公共建築の日」、11月を「公共建築月間」として様々なイベントが実施されています。

営繕部では「公共建築の日」及び「公共建築月間」イベントとして、昨年に引き続き、「公共建築パネル展」を開催し、近年営繕部が整備を行った施設をご紹介します。是非お立ち寄りください。

日時：11月19日（月）～11月22日（木）

場所：高松サンポート合同庁舎 低層棟 アイプラザ

また、現在工事中の「阿南税務署（徳島県阿南市）」の現場見学会を11月28日に予定しています。広く一般の方に見学して頂くことで、工事現場における施工プロセス等について理解を深めていただきたいと思います。詳細は下記のホームページでお知らせしております。

営繕部ホームページ <http://www.skr.mlit.go.jp/eizen/index.html>

四国における「公共建築の日」及び「公共月間」関連イベント（実施済みを含む）

○香川県 「公共建築パネル展」

日時：11月19日（月）～22日（木）

場所：香川県庁1階ギャラリー

ページ(3)

- 愛媛県 「公共建築パネル展」
日 時：11月12日（月）～16日（金）
場 所：愛媛県庁別館1階玄関ホール
- 高知県 「公共建築パネル展」
日 時：11月11日（日）～15日（木）
場 所：オーテピア高知図書館
- 「公共建築の日」及び「公共建築月間」四国地方実行委員会
公共建築講演会
「幼児から高齢者の健康を守る公共建築デザインの科学的根拠」
日 時：10月 4日（木）
場 所：サンポートホール高松

国営讃岐まんのう公園「ウィンターファンタジー」
～きらめく幻想的な世界へぜひお越しください～

【 香川河川国道事務所 公園課 】

国営讃岐まんのう公園では、平成30年11月23日（金・祝）から平成31年1月6日（日）まで冬恒例の一大イベント『ウィンターファンタジー』を開催します。

今年のテーマは「せとうち四国の輝き」国営讃岐まんのう公園は、平成30年4月に開園20周年を迎えました。20周年を機に、これまでの公園の歩みを振り返りながら、改めて地域の自然や風景の美しさなど、その魅力を「せとうち四国の輝き」として表現します。

公園入口であるエントランス広場には、高さ10mの「シンボルツリー」が皆様をお出迎え。そこから先に進むと壁面の石垣が華やかな光で覆われた「光のヴィスタ」が現れます。さらに進んでいくと昇竜の滝上では四国最大級の地上高さ5mの「シャンパングラスタワー」が見え、その先には広大な台地に「グランドイルミネーション」が広がります。

また、公園のシンボルでもあり、今年「四国八十八景」にも選定された、落差9mの「昇竜の滝」もライトアップし、光に包まれた神秘的な瀑布をご覧ください。

イベント開催初日には点灯式を行うほか、週末を中心にまんのう公園マスコットキャラクター「ドラ夢」のお出迎えや地元高校生による書道パフォーマンス、ジャンボかるた大会等のイベントを実施します。

まんのう公園で素敵な一夜を大切な人と過ごしてみませんか。

★★★ウィンターファンタジー★★★

【開催日】平成30年11月23日（金・祝）～平成31年1月6日（日）

※休園日：11/27（火）、12/4（火）、12/11（火）、12/18（火）、
12/29（土）～12/31（月）

【開園時間】9：30～20：00

※金・土・日・祝日および12/25（火）～12/28（金）、
1/1（火）～1/6（日）は21：00まで開園

※季節の花情報やイベント情報については、国営讃岐まんのう公園ホームページで
ご覧下さい。（<https://sanukimannoupark.jp/>）

徳島河川国道事務所からのお知らせ

【 徳島河川国道事務所 】

徳島河川国道事務所では、8月12日(日)阿波踊り初日に「国土連」として阿波踊りに参加し、紺屋町演舞場、藍場浜演舞場に踊り込みました。

「国土連」は鳴り物(太鼓、三味線、鐘)がなく、阿波踊り初心者がほとんどの連ですが、有名連である「娯座留連」の協力の下、中筋川総合開発工事事務所、港湾空港部、水資源機構吉野川河口堰管理所など、四国の各地から参加者が集まり、60人ほどの立派な連となりました。

阿波踊りを通して、事務所では普段は見られない一面を見つけることができ、参加者たちとの交流を深めることができました。

紙面を借りて、少し「国土連」の歴史について振り返ってみます。残っている資料を見ると、平成19年度までは「国土連」単独で阿波踊りに参加しており、鳴り物や女踊りも行われていました。

当時は、徳島市観光協会の鳴り物教室に参加し、昼休みに第一会議室で練習を行い、仕事が終わった夕方にも事務所駐車場で仕上げ練習を行うなど、時間外レクレーションの枠を超えて阿波踊りへの意気込みが熱く強く感じられるものでした。

参加者も、記念写真を見ると100人以上の連となっており、家族も参加する夏の一大イベントとして、阿波踊りを楽しんでいたようです。

ところが、平成20年度になると阿波踊りが休止となってしまい、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響もあり、再度、時間外レクレーションとして復活するのは平成26年度になりました。

復活に際しては、鳴り物をどうするかが課題となり、「娯座留連」の協力により合同連として、阿波踊りに参加するようになりました。

今年は復活してから5回目の阿波踊りとなりました。若手職員が声を掛け合って参加者の募集や練習をリードしてくれ、職員の団結を強めてくれました。また、徳島河川国道事務所として、徳島の誇りである阿波踊りに参加することにも意義があると思います。

参加されなかった方も、来年はぜひ参加いただき、「国土連」の伝統を引き継いで行って下さい。

四国地方整備局HP

<http://www.skr.mlit.go.jp/>

四国地方整備局Facebook

<https://www.facebook.com/shikokuchisei/>

自治体担当者様におかれましては、首長ご本人への転送とあわせて、職員の方への周知もお願いいたします。

「いきいき四国通信」に関するご意見、配信中止・配信先変更のご希望等がありましたら、下記メールアドレスまでお寄せ下さい。

国土交通省 四国地方整備局 企画部 「いきいき四国通信」事務局

<mailto:skr-seibikyoku@mlit.go.jp>
